

熱帯が北に移動した。

2020.7.10

この前、夏至の日の1日前に、太陽の南中高度を観察した。その結果、角度は80度程度と観察できた。夏至の日に、この南中高度が90度であると、そこに北回帰線が通っていることになる。この角度から、少なくとも、九州のあたりに北回帰線が通っていると推測できる。

30年前に北回帰線が通っていたのは、台湾中部などである。そこの気候は概ね亜熱帯である。そこでは、パイナップルやバナナがとれた。このことから、この現在の北回帰線が固定すると、九州でも、パイナップルやバナナがとれることになる。また、北回帰線が北上したということは、同時に、赤道や南回帰線が北上しているとも考えられる。この場合、新しい赤道はタイのあたりを通ることになる。日照時間の減るオーストラリアのあたりでは、逆に寒くなるであろう。

何故、北回帰線が北上したか。それは、地軸が傾いたためであろう。これまでの地球儀はある程度南側に傾いていたが、その角度が大きくなったということである。何故、地軸が傾いたのか。私は、それは、地球上での電気の使い方に偏りがあるためではないかと考える。

私は、運動（エル）とは、電気（イーエル）と等価だと考えている（●エイゾウ、『エルガク ひとりブツリガクのチョウセン』、ハチジュウゴ、『ウ』よんジュウゴ、キュウジュウ、『ウ』ロクジュウよん）。だから、電気を使えば、運動に影響を与える。例えば、ロボットは電気で動くであろう。その理屈にある運動の大きさが、地球上での電気の使う量の偏りによって（南半球の方が電気の利用は少ないであろう。）、表面化し、地球の自転の仕方が変化したためだと思う。先ほどの観察からは、電気の使用量が多いほど、日照時間が増えるようになると言えるかもしれない。

今後は、さらに、地軸の傾きが大きくなるのか、極の位置が変わっているのか（私はまだ観察していない。）を見守る必要があるだろう。

驚きとともに



エイゾウ

R001

<http://eizo09.com>

[eizo@eizo09.com](mailto:eizo@eizo09.com)